

新年のごあいさつ

## 『志』と『信頼』で 明日の成長を協創する!

財団法人 京都産業21 理事長 立石 義雄



新年明けましておめでとうございます。

昨年は、『不信、不安、不透明』な時代の始まりと言われました。新年に入りましても、経営環境は依然として予断を許さない状況にあります。また、IT化、グローバル化、中国の台頭という3つの潮流は、市場の拡大をもたらす反面、価格下落を引き起こしており、もはやデフレ不況という状況、中期的に続くデフレ経済と認識すべきものとなっています。

このような中、当財団では、グローバル化対応としてJETRO京都情報デスクの設置、北部地域の産学交流拠点として京都工芸繊維大学丹後サテライトオフィスの開設など、お客様である中小企業の多様なニーズに応えるべく各種事業を積極的に推進してまいりました。

また、三財団統合から二年目を迎え、財団の「使命 = ミッションステートメント」策定に取り組み、組織全体のベクトルを合わせるための基本理念と行動指針の明確化を図りました。基本理念は「われわれは、顧客とのコミュニケーションを最も大切に、あらゆる資源の有効活用を図り、中小企業の企業活動に真に役立つ質の高いサービスを提供することにより、京都産業の発展に貢献します」と定め、今後は、この基本理念に基づいて、これまでの「利用者」から「顧客」の視点でサービスの向上に全力を尽くしてまいります。

今年は、デフレ経済が進行する中、『不安』を増大させる出来事が相次ぐと考えられます。その『不安』には、1)従来のやり方が通用しなくなり、どうしたらいいかわからないという仕事上の不安感、2)環境、資源、エネルギー、産業廃棄物、食料、教育、健康、安全、人権、福祉などの面での『工業社会の忘れ物』ともいべき社会問題が顕在化してきたという生活上の不安感があると考えます。

企業は、このような仕事上、生活上の不安を取り除くため、本質的な構造転換を進め、IT、バイオ、ナノテク、環境、エネルギー分野などのさらなる技術革新を活用することで、社会問題解決型のビジネスモデルやモノづくりを創出することこそ、企業の社会貢献であり、同時に大きなビジネスチャンスであると思えます。

そして、社会のどの部分に、どのように貢献したいのかという『志』を持つことが大切だと思います。『志』があつてこそ、科学技術や知識は生きてくるものだからです。「工業社会の忘れ物」は、単独では解決出来ない問題ばかりです。だからこそ同じ『志』を持つものが、互いの強みと知恵を出し合って解決していくことが求められています。この『志』を持って機能的パートナーとして連携すること、すなわち『協創』によるビジネスモデルこそが、不安な時代においても、社会の『信頼』を得て、明日の成長を創り出していくものと確信しております。

当財団といたしましても、策定したミッションに基づき、サービスの質の向上を目指した構造転換を図り、信頼される総合的支援機関として『協創』の一端を担えるよう、国や京都府の施策に呼応して、各種事業に取り組んでまいりますので、当財団の活動へのさらなるご理解とご協力をお願い申し上げます。

最後に、皆様方の益々のご繁栄、ご健勝、ならびに、経済が力強い回復軌道に乗り、明るく希望に満ちた年となりますことを心から祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

### INDEX

財団理事長 年頭あいさつ	1	あっせん情報(発注・受注コーナー)	6~7
京都府知事 年頭あいさつ	2	取引適正化無料法律相談日のお知らせ	7
中小企業とIAS(国際会計基準)その3 キャッシュ・フロー	3	専門家特別相談日のお知らせ	7
設備貸与制度利用企業紹介	4~5	中小企業のための・電気関連主要省エネルギー対策(実践)講習会のお知らせ	7
小規模企業者等設備貸与制度(割賦・リース)申込受付中	5	企業取材レポート「気になるこの人、この会社」	8

# 挑戦しなければ、 前進はない

～ 明日の京都へ挑戦～

京都府知事

山 田 啓 二



府民の皆さま、新年あけましておめでとうございます。

皆さまとともに新春を迎えられましたことを心からお慶び申し上げます。

私は昨年、荒巻府政の継承と発展、そしてそのための府庁の改革を掲げ、第47代京都府知事に就任いたしました。その後直ちに、中小企業の方々をはじめ府民の皆さまの現下における厳しい状況に対応するため、雇用・不況対策や府民生活に重大な脅威を与えている産業廃棄物・不法投棄対策など緊急課題に積極的に取り組むとともに、当面する様々な課題に対処するため、雇用創出・就業支援や地球温暖化防止など、福祉・環境・教育・産業育成等について新しい施策づくりを進めてまいりました。

我が国の社会・経済情勢は依然として深刻な状況にあり、未だ曙光を見出せずにあります。それだけに、府民の皆さまの生活を守り、ともに歩む地方自治体の役割と責任が一層重さを増す中、私は皆さまの声や思いを大切に、開かれた透明な府政の推進に全力を挙げて取り組んでまいりたいと考えております。

そのために本年もまた一步、明日に向かって邁進することが必要です。京都縦貫自動車道綾部宮津道路の開通や京都第二外環状道路、第二京阪道路の整備など交通ネットワークがその姿を見せてきました。関西文化学術研究都市では、昨年の国立国会図書館関西館の開館に次いで、就業体験等の拠点となる「私のしごと館」が開館するなど、新たな発展段階を迎えようとしています。さらに3月には「第3回世界水フォーラム」が開催され、古くから水との関わりを大切に、水の文化を育んできたここ京都から水問題や環境問題解決へのアピールを世界に向けて力強く発信してまいります。

一方、昨年はうれしいニュースもありました。京都の企業に在籍する田中耕一さんのノーベル化学賞受賞です。伝統に裏打ちされ、その上で進取の気風に富む京都の潜在力の大きさを目の当たりにし、私たちは大いなる勇気と将来への希望を与えられました。

私たちの京都は、丹後地域から相楽地域まで、自然、歴史、風土、伝統、文化、学術、産業など、日本や世界に発信できる「力」を示してまいりました。私は、さらにこの「力」と、それを支える人々をむすびあい、ともに豊かな伝統と文化の上に新たな時代の京都を創造し、アジアはもとより世界に発信していくことで、京都の未来は大きく拓けるものと確信いたしております。

私は「挑戦しなければ、前進はない」と思っております。今後も、皆さまとともに、躍動感あふれる明日の京都府づくりに邁進してまいる決意であります。

新年にあたり、皆さまの変わらぬご支援をお願いいたしますとともに、ご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。

# 中小企業とIAS(国際会計基準)その3 キャッシュ・フロー

公認会計士 陣川 公平

## 1 お金の流れは血液の流れである

呼吸は30秒くらい止めていても我慢できます。しかし、心臓は止まった途端にぱったり倒れます。同じように、会社の働きはすべて「お金」を通して行われていますから、その資金の流れが滞ったら、たちまち会社は倒産です。とくに中小企業の経営者にとって、資金の計算と管理は損益計算と同じくらい(あるいはそれ以上に)大事なことです。これまで、日本の商法や会計原則では、いわゆる決算書の中に資金計算書は正式には入っていませんでしたが、IASでは、重要な企業情報として公開されることになりました。

## 2 キャッシュ・フロー(資金がどこから生れ、どこに使われるか)

C/Fは、図のようにつぎの三つの区分から成立っています。

### 営業活動

まず、会社の当期利益が資金の源です。しかし、損益計算上の利益額がそのまま資金で残っているわけではありません。

- ・ 減価償却費は経理計算上の費用ですが、その分の資金が社外に出ていったわけではありません。だからC/Fでは利益額へのプラス資金とします。貸倒引当金の増加も同じで、現金支出のない費用ですから、C/Fに上のせします。
- ・ 売掛金が増えたのは、代金回収が遅れていて、その分だけ資金が食われたということです。つまり、営業活動としてはマイナスのC/Fになります。
- ・ 商品の流通管理が上手に働いて、期末在庫が減ったとしたらどうでしょう。これは棚に寝ていた在庫品がお金に形を変えたということですからC/Fプラス要素です。
- ・ 負債側で、買掛金が増えたのは、仕入先への支払いがそれだけ遅れたことになります。先方には迷惑なことです。少なくともC/Fのプラスにはなりません。

### 投資活動

新しい設備機械を購入するのは、商品を右から左に売買する営業活動とは異なる働きです。長期的な経営計画の中で、資金全体の流れを見ながら設備資金の投入額と時期を見なければなりません。資金の余裕を見て、社債や株式を買ったり売ったりすることもあるでしょうが、これもC/Fとしては投資活動のうちです。

### 財務活動

銀行から資金を借りたり、返済したり、あるいは社債を発行して一般から資金調達をすることがあります。株主から増資の形で追加出資を求めることもあるでしょう。いずれも、直接的な財務手段による資金の増減です。

## 3 C/Fの経営利用

単年度のC/F予算実績表だけでなく、中長期(最低5年)のC/F計算書を作り、損益計算書の変化と連動させながら、計算と実績を厳しくチェックしていくことが大事です。

### キャッシュ・フロー計算書(C/F) 簡単な例

H14 4.1 ~ H15 3.31

(単位:百万円)

1 営業活動によるC/F	
・ 税引前当期利益	1 300
・ 減価償却費	100
・ 貸倒引当金増加	50
・ 売掛金増加	- 120
・ 商品在庫減少	60
・ 買掛金増加	80
・ 法人税支払	- 390
小 計(a)	1 080
2 投資活動によるC/F	
・ 機械設備購入	- 210
・ 有価証券売却	50
小 計(b)	- 160
3 財務活動によるC/F	
・ 銀行借入	250
・ 長期借入金返済	- 150
小 計(c)	100
現金の純増減(a+b+c)	1 020
現金の期首残高	580
現金の期末残高	1 600

以下次号に続く

# 設備貸与制度利用企業紹介

## 亀岡スプリング株式会社 - 社長の仕事は人づくり! -



亀岡スプリング株式会社 代表取締役 小林 正和 氏

代表者名:代表取締役 小林 正和  
資本金:1 000万円  
従業員数:30名  
所在地:亀岡市東本梅町東大谷外鳥居10-1  
TEL 0771-26-2216  
FAX 0771-26-3408  
事業内容:各種精密ばね製造  
(線ばね、押しばね、引きばね、捻りばね)  
利用回数:10回

### 御社の経営理念をお聞かせください。

企業経営で一番大事なのは人だと考えています。従業員の生活が安定することが第一です。利益は従業員の生活基盤である会社を存続させるために必要となるものです。機械や土地・建物はお金で買える。しかし、人の心はお金では買えない。時代に合わないかもしれないが、経営低迷による人員削減は、したくない。そうならないようにするためには従業員ひとりひとりの心、やる気が大事です。

会社の内容(経営状態)は従業員にもオープンにしています。人事考課についてもみんなが納得いくよう公平性を重視しています。従業員がやる気を起こしてくれる雰囲気、環境づくりが私の仕事だと思っています。利益が出る、出させる雰囲気、環境づくりが私の仕事だと思っています。そして、やる気、自主性を自然に植えつける。私はこのことに日夜努力しています。

一方、お客様には「できません」、「無理です」は言わない」をモットーに量的、納期的、技術的、コスト的に難しい発注に対しても果敢にチャレンジしています。

派手なことはしない。堅実に、地道にやっていきたいと考えています。反面、勇気とチャレンジ精神をもって一層の事業発展を目指したいと思っています。

### 貸与制度を知ったきっかけは何ですか？

「設備は公的制度、運転資金は銀行」という基本的な考え方を持っています。ですから公的制度については情報収集し、十分に勉強していましたので貸与制度のことも知っておりました。



### 貸与制度を利用していかがでしたか？

初めて貸与制度を利用して、コイリングマシンや研磨機等を導入したのが昭和60年。当社が積極的に設備投資を始めたのもこの頃からであり、その後も数年間は貸与制度中心で設備投資をしてきました。

やはり当時は信用力、資金力等何かにつけ力がなかったですから貸与制度は助かりました。金融機関等の別枠で設備投資ができるのがいいですね。固定金利であるとか貸与システムがきちんとしているというのも安心(信頼)でき、私の性分に合っているというもあります。(笑)

平成2年にコイリングマシン等を貸与制度で導入したのですが、工場を増築して借入金が増加した時だったのでこの時は非常に助かりました。また、平成6年に3 000万円弱の高価なコイリングマシンを貸与制度で導入した

時のことですが…。当時、小ロット物の加工は手加工で行っていたのですが、この機械を導入すれば、引きばね、押しばね、捻りばねと様々な形状をこの機械1台でこなすことができ、効率が上がる非常に優れた機械でした。しかし、当時の受注状況等から投資対効果を考えると採算が合わないため、非常に悩んで導入を決めました。今すぐ利益を産む機械でなかったため低利で長期の貸与制度は非常に助かれました。導入当初は採算割れしていましたが、その後、小ロットの複雑な形状のものが増加し、今ではこの種の機械を4台導入するまでになり、思い切って1号機を導入して良かったと思っています。

御社の会社案内の沿革で「京都府中小企業振興公社により、工場内の設備充実を図りだす」と記載していただいています。

お蔭様で取引先、金融機関等から信頼いただき、現在では運転資金、設備資金の調達にはそれほど苦勞することもなくなりました。しかし、力の無かったときは本当に貸与制度を利用させていただいて助かれましたし、貸与制度への感謝の気持ちとその時のことを忘れない、初心を忘れないために記載しています。それと公的な機関を利用しているということにより当社への信頼もしていただきたいという思いもありますね。(笑)

今後は貸与制度も何か個性というか独自性のある制度にされることを期待しています。

最後に会社としての今後の展望についてお聞かせください

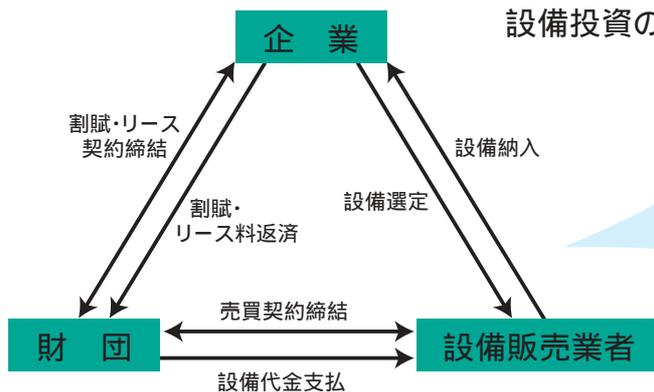
そうですね。マンネリ化の防止ということも考えて何か研究開発を行いたいと思っています。現在やっているものと違うものを取り入れたいですね。そして、今の世の中のないものを。

そのために少しの余裕を持ちたいと考えています。



## 設備貸与(割賦・リース)申込受付中

財団法人京都産業21が企業の方の設備投資を応援しています。  
設備投資の際は、是非一度お問い合わせください



企業の方が必要な設備を導入しようとする時、希望される設備を財団が代わってメーカーやディーラーから購入して、その設備を長期かつ低利で割賦販売またはリースする制度です。

区 分	割 賦 販 売	リ ー ス
対 象 企 業	原則、従業員20人以下(ただし、商業・サービス業等は、5人以下)の企業ですが、最大50人以下の方も利用可	
対 象 設 備	機械設備等(土地、建物、構築物、賃貸借用設備等は対象外)	
対象設備の金額	実績が1年以上あれば100万円～6,000万円まで利用可能です。	
割賦期間及びリース期間	7年以内(償還期間) (ただし、法定耐用年数以内)	3～7年 (法定耐用年数に応じて)
割賦損料率及び月額リース料率	年2.75% (設備価格の10%の保証金が契約時に必要です)	3年3.006%    4年2.312% 5年1.886%    6年1.609% 7年1.408%
連 帯 保 証 人	一定の要件を満たす連帯保証人が必要です。	

詳細につきましては、当財団設備助成課(TEL 075-315-8591)までお問い合わせください。

# あっせん情報

このコーナーについては、産業振興部 企業振興課までお問い合わせください。  
 なお、あっせんを受けられた企業は、その結果についてご連絡ください。

企業振興課 TEL 075 - 315 - 8590

## 発注コーナー

(平成14年12月25日調)

業種 No.	発注品目	加工内容	地域 資本金 従業員	発注案件							
				必要設備	材料等	数量	金額	支払条件	希望地域	運搬	備考
織-1	足袋	型紙～仕上	京都市 右京区 1000万円 4名	関連設備一式		話合い		20日 翌月10日支払	不問	話合い	経験者
						話合い		全額現金			

## 受注コーナー

(平成14年12月25日調)

業種 No.	加工内容	主要加工 (生産) 品目	地域 資本金 従業員	主要設備	月間の 希望する 金額等	希望する 地域	備考 能力 特徴 経験等
機-1	組立、配線、調整、 検査(現地出向可 能)	メカトロ・医療機器及び 制御盤、P板	京都府 大山崎町 300万円 14名	関係設備一式	話し合い	不問	
機-2	一般切削加工 (NC・MC加工)	自動車部品～航空機 まで	京都市 南区 300万円 5名	NC旋盤、MC、旋盤5～8尺、ボール盤、 多軸タッピングマシン、その他	話し合い	不問	
機-3	各種コイルスプリング (線ばね)	押・引・捻ばね (自動車・電気電機・ 電子・家電製品用)	京都府 亀岡市 1000万円 30名	ばね成形機械、ばね研磨機械、 ばね熱処理機、ばね荷重試験機、その他	話し合い	不問	
機-4	旋盤加工 (20～500)	一般機械部品	京都府 宇治市 個人 1名	NC旋盤、汎用旋盤4～8尺、その他	話し合い	不問	
機-5	ショットブラスト各種 (アルミ・ステンレス・ AD)	アルミダイキャスト製品 のバリ処理、表面処理	京都府 綾部市 5000万円 20名	ハンガー式ショットブラスト	話し合い	不問	
機-6	金属・鉱石・樹脂そ の他の粗粉碎～超 微粉碎加工	リサイクル原料	京都府 宇治市 個人 13名	粗粉碎・中粉碎・超微粉碎ライン、 粉碎関連設備	話し合い	不問	
機-7	フライス・NC・MC加 工、平面切削加工、 旋盤加工	一般産業用機械部品	京都府 亀岡市 1000万円 9名	フライス盤、NCフライス、MC、ボール盤、旋盤、 平面切削盤、その他	話し合い	不問	
織-1	裁断～縫製～仕上 (加工一貫)、サンプ ル～量産	婦人服全般(ジャケッ ト・コート等)	京都市 南区 個人 3名	上下差動送ミン、穴かがりミン、平三本、イ ンターロック、先巻きロック、二本針ロック、バンド ナイフ、検針機、吸排両用バキューム	話し合い	不問	「BPNet」 受注 No.232
織-2	裁断～縫製	袋物(和洋装)	京都府 綾部市 個人 2名	裁断機、本縫いミン、その他	話し合い	不問	
織-3	パターン(型紙)作 成	各種婦人服パターン	京都府 長岡京市 個人 1名	パターン作成関連設備一式	話し合い	不問	
他-1	お客様のニーズに 応じたアプリケーション ソフト開発	アプリケーションソフト、 Webシステム	京都市 下京区 300万円 4名	パソコン、プリンタ、スキャナー、その他	話し合い	不問	

業種 No.	加工内容	主要加工 (生産) 品 目	地 域 資本金 従業員	主要設備	月間の 希望する 金額等	希望する 地域	備考 [能力 特徴 経験等]
他-2	Webアプリケーション作成、Webデータベース構築、インターネットインフラ整備	設計・制御システム、計測データ処理システム、シミュレーション・解析ソフト	京都府 京田辺市 1000万円 5名	パソコン、その他開発環境一式	話し合い	不問	
他-3	修繕・メンテナンス	厨房機器設備	京都府 向日市 個人 2名	CAD、その他関連設備一式	話し合い	不問	

\*備考欄に「BPNet」の表記がある場合は、ホームページのBPNetで詳細がご覧いただけます。  
「BPNet」のURLは、<http://www.ki21.jp/BPN/>です

## 取引適正化無料法律相談日のお知らせ

当財団では、取引に関する法律問題や苦情・紛争及び経営活動で生じる様々な法的問題でお困りの中小企業の方に対し、顧問弁護士による無料法律相談を下記のとおり行っておりますので、お気軽にご利用ください。

相談日 平成15年1月の相談日は14日(火)です。  
平成15年2月の相談日は12日(水)です。  
相談時間 13:30～16:00  
相談場所 当財団 相談室  
京都市下京区中堂寺南町134 京都リサーチパーク内(京都府産業プラザ2階)  
申込方法 事前に相談内容を当財団 産業振興部 企業振興課までご連絡ください。  
TEL 075-315-8590 / FAX 075-315-9240 E-mail:kigyo@ki21.jp

## 専門家特別相談日のお知らせ

**課題解決には、先ず専門家相談員に相談を!!**

当財団では、創業・ベンチャー企業および経営の向上をめざす中小企業の方々が事業展開を図る上での、様々な問題解決について、専門家相談員が無料でお応えする『専門家特別相談日』(毎週木曜日)を開設しています。ぜひご利用ください。

1月の相談日 16日、23日、30日(いずれも木曜日)  
相談時間 10:00～16:00  
相談場所 当財団 相談室  
問合せ・申込先 事前に相談内容を当財団 新事業支援部 経営革新課までご連絡ください。  
TEL.075-315-8848 / FAX.075-323-5211 / E-mail:kakushin@ki21.jp  
専門家相談員等の詳細は、財団のホームページをご参照ください。  
<http://www.ki21.jp/information/specialist/sodan/>

毎週木曜日  
開設

## 中小企業のための熱・電気関連主要省エネルギー対策(実践)講習会のお知らせ

平成14年度中小企業エネルギー対応情報提供事業啓発普及講習会

日時 平成15年2月7日(金) 午後1時30分～午後4時50分  
場所 けいはんなプラザ 5階会議室ボルガ 京都府相楽郡精華町光台一丁目7 TEL 0774-95-5115  
主催 中小企業総合事業団 (財)京都産業21  
講師 杉野 重久氏(中小企業総合事業団エネルギー使用合理化専門員)エネルギー管理士(熱)第2種電気主任技術者  
定員 30人(定員になり次第締切らせて頂きますので、お申込はお早めに)  
参加費 無料  
申込み 参加ご希望の方は、FAXまたはE-mailにて  
1 参加者名 2 所属・役職 3 企業名 4 所在地 5 電話番号・FAX番号 6 E-mailアドレス 7 業種  
8 事業内容 9 従業員数 10 資本金 11 質問事項 以上をお書き添えの上お申込みください。  
申込先 (財)京都産業21 産業振興部 企業振興課(家田)  
TEL 075-315-8590 / FAX 075-315-9240 E-mail:k-ieda@mail.joho-kyoto.or.jp

# 企業取材レポート「気になるこの人、この会社」

## ～プラスチック成型品の染色に成功～ 新分野への展開

企業名:株式会社 ムラカミ  
代表者:代表取締役社長 村上賢治  
資本金:1000万円  
従業員数:12名  
設立:大正6年  
所在地:京都市北区紫野東御所田町20番地  
TEL:075-431-5166 FAX:075-431-5169  
URL:http://www.m-c-sys.com  
事業内容:1 繊維用染料及び工業薬品の販売及び製造  
2 プラスチック(成型品)の染色



京都市内北部、堀川北大路の交差点から少し南東に入った住宅街の一角にある(株)ムラカミ。1917年(大正6年)創業の繊維用染料・工業薬品の卸販売会社がプラスチック成型品の染色技術の開発に成功した。

家電製品や容器類など身の回りにはプラスチック製品があふれているが、プラスチックはもともとは透明で、成形前にプラスチック原料に顔料を練りこんで着色するのが一般的である。そのため成形機で打ち出すためには大量生産が必要で、また、色落ちや薬品による変形などの課題を抱えていた。

開発した染色法は、プラスチック成型品の強固な表面を特殊な薬剤で前処理し、染料を成型品に浸透させる。一品から対応でき、ポリエチレンからアクリル、ウレタンまで大半のプラスチック材料を、あらゆる色に染めることを可能にした。

同社がこの技術の開発に着手したのは今から8年ほど前、当時、まだ専務取締役であった村上賢治 現社長が独り社内の試験室で研究を始めた。

プラスチックの染色技術自体は、以前からあったものであるが、溶剤使用による安全面への配慮から何十年の間使われなくなっていた。大学で機能高分子を学んだ村上社長は、かねてから、溶剤を使わずに安全性をクリアした別の手法で実現させる構想をあたためていたが、折しも、地元西陣をはじめ繊維業界が低迷する中、顧客からの依頼をきっかけに、これまで大手メーカーや研究機関でさえ商品化できなかった技術に挑戦することに。

研究開発は試行錯誤の連続であったが、結果的に表面処理の成功と数千種類の染料の中から素材、色に合わせて最適のものを見極める染料商社としての目がかぎとなった。「最初は誰もが無理だと笑ったが、単なる研究でなく、何としても新しい仕事を育てなければという危機感があった」と当時を振り返る。

平成10年、東京で開催された中小企業テクノフェアに初めて出展して技術発表。以後、展示会等に積極的に参加し、毎回多くの引き合いを受け、着実に成果を上げている。

技術改良も進み、4フッ化フッ素以外のあらゆるプラスチック素材への染色が可能になり、受託加工量も増えてきたことから、同社は、昨年夏、本社向かいに研究所を兼ねたプラスチック染色の専用工場を完成させた。プラスチック染色機を4台設置し、いよいよ事業の本格化がスタートした。



セイコーが発売しているファッションウォッチ。時計本体やバンド、ネジにいたるまで、当社の染色技術が使われている